

23	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
	14102024	ポーラリメトリック・インターフェロメトリックレーダによる地雷検知に関する研究	佐藤 源之(東北大学・東北アジア研究センター・教授)	A+
<p>(意見等)</p> <p>本研究は、地雷検知という明確な目標を掲げて、学術的な考察から、オンサイトでの実用試験まで視野を広げて実施されたものである。一般に、地雷が埋められている地表は不均一かつ凹凸があるが、地表の媒質不均一性の影響を抑圧し、地雷の高精度のイメージングを非接触で実現するための新しい測定法やアルゴリズム、ソフトウェアを開発するなど、学術的に優れた成果が挙がり、国際的な学術論文誌に多く掲載されている。</p> <p>さらに、同時進行していた JST のプロジェクトにより開発された技術も併せて、プロトタイプを試作し、アフガニスタン、エジプト、クロアチア、カンボジアなどで評価試験も実施され、我が国が人道的支援として果たす役割の一端を担う技術になると考えられる。さらに、本技術は地下の亀裂や埋設管の状況調査などにも応用できる技術であり、社会的波及効果は極めて大きいものがあると言える。</p> <p>以上のように、本研究は当初の計画以上に、成果が上がったと考えられる。</p>				
24	課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
	14102026	微細気泡を用いた内湾貧酸素水の改善とその効果の長期的予測に関する研究	磯部 雅彦(東京大学・大学院新領域創成科学研究科・教授)	A
<p>(意見等)</p> <p>微細気泡による水質改善について、水質と水理特性をフィールドで同時計測を達成させたことは評価できる。国際ジャーナル等での発表を鋭意行っており、研究の質も高いと認められる。</p> <p>なお、極めて局所的、短期間の計測であり、内湾全域の長期にわたる水質改善効果、環境系全体の修復の持続性など本研究の目的であった具体的戦略を示すには問題を残している。</p>				